

令和6年度（2024年度） 事業実績報告書

1. 申請者の概要

申請者	団体名		高石商工会議所
	代表者職・氏名		会頭 山内 和彦
	所在地		高石市綾園2丁目6番10号
	担当者	職・氏名	事務局長兼中小企業相談所長 磯川亜紀
		連絡先	T E L（直通）：
F a x：			072-261-7676
E - m a i l：	tcci@gold.ocn.ne.jp		
①設立年月日			昭和58年4月1日
②職員数 （うち経営指導員数）			10名（経営指導員6名）（令和7年3月31日現在）
③所管地域			高石市
④管内事業所数			1,884（令和3年度経済センサス）
⑤管内小規模事業者数			1,253（令和3年度経済センサス）
⑥会員数（組織率）			1,084（57.5%）（令和7年3月31日現在）
※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載すること			
□主な事業概要（定款記載事項等）			
(1)商工会議所としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。 (2)行政庁等の諮問に応じて答申すること。 (3)商工業に関する調査研究を行うこと。 (4)商工業に関する情報及び資料の収集又は刊行を行うこと。 (5)商品の品質又は数量、商工業者の事業の内容その他商工業に係る事項に関する証明、鑑定又は検査を行うこと。 (6)輸出品の原産地証明を行うこと。 (7)商工業に関する施設を設置し、維持し、又は運用すること。 (8)商工業に関する講演会又は講習会を開催すること。 (9)商工業に関する技術及び技能の普及又は検定を行うこと。 (10)博覧会、見本市等を開催し、又はこれらの開催のあっせんを行うこと。 (11)商事取引に関する仲介又はあっせんを行うこと。 (12)商事取引の紛争に関するあっせん、調停又は仲裁を行うこと。 (13)商工業に関して、相談に応じ、又は指導を行うこと。 (14)商工業に関して、商工業者の信用調査を行うこと。 (15)商工業に関して、観光事業の改善発達を図ること。 (16)社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。 (17)行政庁から委託を受けた事務を行うこと。 (18)前各号に掲げるもののほか、本商工会議所の目的を達成するために必要な事業を行うこと。			

(1) 事業の目標

物価高やエネルギー価格高の影響を受けている事業者に対し、事業者自身が経営課題を把握し、解決できるように迅速な情報提供ときめ細かい伴走型の経営支援を行う。そして、小規模事業者の事業継続と経営基盤の強化を図り、課題解決に繋がる支援を目指す。①創業者に必要な心構えや事業経営の基本を学ぶセミナーを開催し、起業家の育成を推進する。②事業を取り巻く様々な災害脅威等への対策に取り組む事業者に対し、危機管理能力を向上させるためBCP・BCM対策に着手するきっかけとなるセミナーを開催するほか、個別支援等により高石市の経済・雇用の維持、安定及び強化を図る。専門的な相談案件は、必要に応じて各種専門家や支援機関等と連携し、課題解決をサポートする。専門相談では、経営における法律・税・労働・金融・知的財産に関する問題解決に向けて専門家とともに支援する。

(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点

●経営相談支援事業：金融支援（指導型）では、物価高や人件費増加で運転資金の需要が拡大し、経済の不透明感から設備投資が遅れる中、人員確保や賃金上昇が主要課題となった。記帳支援では定額減税やインボイス制度対応を支援。財務分析支援では損益分岐点の考えを伝え、収支状況把握を支援した。さらに同業他社との比較を通じ、自社の強み弱みを分析し、経営改善へ具体的な指針を示した。

●専門相談支援事業：税務支援と法務支援は相談日を設け、専門家と連携して支援した。労務支援と知的財産権支援は、事業者の課題解決を目的に、相談が寄せられるたびに実施した。

●地域活性化事業：【創業セミナー】今年度は「創業プレセミナー」を開催し、創業に関心のある方々に創業に向けた一歩を踏み出すきっかけを提供するとともに、受講者間の交流を促進し、続く「創業セミナー」への参加につなげた。「創業セミナー」では、創業に必要な知識や情報を習得し、創業前に抱えていた不安や疑問を解消することで、創業意欲を向上させ、起業家の発掘を目指した。

【BCP策定支援事業】計画の策定や危機管理対策についてのBCP策定セミナーを開催し、BCP・BCMに関心のある企業の発掘と普及啓発を行った。

(3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況

●経営相談支援事業：物価高や人件費増加に伴う運転資金需要の拡大や設備投資の遅れへの対応が行われ、人員確保や賃金上昇の課題解決を目指した。また、記帳支援では定額減税やインボイス制度対応を支援し、財務分析支援では損益分岐点の理解を深めるとともに収支状況を把握するのを支援するなど、同業他社との比較による強みと弱みの分析を通じ、経営改善への具体的な指針を示した。

●専門相談支援事業：専門的なアドバイスを受けることで、事業者が新たな成長機会を見出し、地域の競争力向上にも寄与している。

●地域活性化事業：「創業プレセミナー」の開催により、創業への第一歩を支援し、参加者間の交流を促進することで地域内の創業意欲を高めた。さらに、「創業セミナー」では、創業に必要な知識を提供し、参加者が抱える不安を解消するとともに創業意欲を向上させ、地域の起業家を発掘する取り組みを展開したことにより、地域全体の活力向上や経済の活性化に寄与した。「BCP策定支援事業」では、セミナーを通じて危機管理対策への理解を深め、BCP・BCMへの関心を啓発し、地域の持続的な成長に貢献した。

(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題

経営相談支援事業では、物価高や人件費増加に伴う運転資金需要の増加や設備投資の遅れが課題となっており、記帳支援や財務分析支援を通じた経営改善や、同業他社との比較による強み・弱みの明確化が重要視されている。専門相談支援事業では、事業者が成長機会を掴めるよう、専門的な支援体制の強化が求められている。地域活性化事業では、「創業プレセミナー」や「創業セミナー」を通じて創業意欲を高め、不安解消と参加者間の交流促進が行われ、創業者の育成が進められている。

「BCP策定支援事業」では対応可能な人材の不足が課題となっており、経営指導員の資質向上が必要である。各支援事業を通じて、引き続き地域経済の活性化と持続的成長を目指す。

(5) 次年度の取り組み

事業者自身が経営課題を把握し、解決できるように迅速な情報提供ときめ細かい伴走型の経営支援を行う。そして小規模事業者の事業継続と経営基盤の強化を図り、課題解決に繋がる支援を目指す。①創業者に必要な心構えや事業経営の基本を学ぶセミナーを開催し、起業家の育成を推進する。②災害や脅威への対策に取り組む事業者に対し、BCP・BCM対策に着手するきっかけとなるセミナーを開催し、危機管理能力の向上を図る。③少子化による労働人口減少で若手人材の採用が困難な状況を踏まえ、若手人材採用・定着やリスクリテラシー文化の醸成など働きやすい環境の整備を目指してセミナーを実施する。④仕事のやりがいやワークライフバランスに焦点を当て、若手人材に選ばれる企業となるための知識やノウハウを提供するセミナーを開催する。

3. 経営相談支援事業・専門相談支援事業 高石商工会議所

Ⅰ 経営相談支援事業						
支援のポイント・成果						
金融支援（指導型）では、物価上昇や人件費増加に伴い運転資金の需要が拡大し、新型コロナからの回復期には支払い条件の調整や在庫補充が求められる中で資金繰りの悪化が続いた。また、不透明な経済情勢により設備投資が先送りされ、人材確保や賃金上昇といった複数の課題が発生している。記帳支援を通じ、6月から開始された定額減税に関する事務手続きやインボイス制度に伴う消費税申告など、新制度対応に苦戦する事業者への支援を行った。財務分析支援では、損益分岐点の考え方を伝え、事業の収支状況を把握できるようサポートした。同業他社との比較も行い、自社の強み弱みを分析することで経営改善への具体的な指針を提供した。						
（代表事例）						
個人電気工事業A社より資金相談があった。新型コロナ流行以降、資金繰りが苦しく、売上が回復しているにもかかわらず、物価高騰や人員確保難など経営課題が山積していた。A社は運転資金確保による経営改善を目指しているが、目先の課題解決だけでなく、先を見据えた借入の検討が必要と判断し、業務効率化とコスト削減を提案した。その結果、設備導入を支援し、金融支援（指導型）で資金調達を行った。事業の進捗状況を把握する中で、定額減税制度に関する事務処理の課題が判明し、記帳支援により年末調整や確定申告書作成を支援した。さらに財務分析支援により損益分岐点を理解し、同業他社との比較を通じて自社の強みと弱みを把握することができた。						
支援メニュー	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価	
事業所カルテ・サービス提案	事業所	350	454	129.7%	5	
支援機関等へのつなぎ	支援数	20	24	120.0%	5	
金融支援（紹介型）	支援数	20	30	150.0%	5	
金融支援（経営指導型）	支援数	50	25	50.0%	3	
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	2	1	50.0%	3	
資金繰り計画作成支援	事業所	5	9	180.0%	5	
記帳支援	事業所	80	171	213.8%	5	
労務支援	支援数	25	27	108.0%	5	
人材育成計画作成支援	事業所	2	0	0.0%	2	
マーケティング力向上支援	事業所	2	5	250.0%	5	
販路開拓支援	支援数	40	58	145.0%	5	
事業計画作成支援	支援数	75	18	24.0%	2	
創業支援	事業所	25	30	120.0%	5	
事業継続計画（BCP）等作成支援	事業所	20	0	0.0%	2	
コスト削減計画作成支援	事業所	2	0	0.0%	2	
財務分析支援	事業所	120	272	226.7%	5	
5S支援	事業所	2	0	0.0%	2	
IT化支援	事業所	20	22	110.0%	5	
債権保全計画作成支援	事業所	0	0	-	-	
事業承継支援	事業所	15	2	13.3%	2	
災害時対応支援	事業所	0	0	-	-	
フォローアップ支援	事業所	30	30	100.0%	5	
結果報告	事業所	345	446	129.3%	5	
Ⅱ 専門相談支援事業						
支援のポイント・成果						
小規模事業者が抱える専門性の高い経営課題の解決に向け、各専門家を活用した専門相談を実施した。経営指導員が受けた相談から経営課題を把握し、適切な専門相談につなぐことにより、問題の早期解決を図ることができた。						
税理士による適正な税務を推進する税務相談、弁護士による法律相談、日本政策金融公庫職員による金融相談など、専門性の高い問題の解決に向けて支援を行った。						
事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
法務相談	継続	支援日数	9	9	100.0%	5
税務相談	継続	支援日数	12	12	100.0%	5
金融相談	継続	支援日数	2	2	100.0%	5
労務相談	継続	支援日数	3	3	100.0%	5
その他相談	継続	支援日数	1	1	100.0%	5

Ⅲ 地域活性化事業										
支援のポイント・成果										
<p>●「創業セミナー」</p> <p>「創業するには何をすればよいのか」「経営初心者の自分に理解できるのか」と不安を抱える受講者が多い中、セミナーを通じて基礎知識や手順を学び、93%が不安や疑問を解消したと回答した。さらに、創業に必要な知識を習得し、起業の動機を再確認することで、収支計画やアクションプランの具体化、準備のスケジュール感、自身の強みの明確化に役立った。また、創業を目指す仲間との交流が心強さを与え、創業意欲を高める機会にもなった。当年度の創業実績は8社（9名）であった。</p> <p>●「BCP策定支援事業」</p> <p>セミナーでは、多くの参加者が現在BCPの策定を検討中であり、大阪府の「超簡易版BCP」を通じて、策定に必要な事項を理解した。また、目前に控える大阪・関西万博がもたらすと見込まれる問題についても解説を受け、脅威に対する備えの重要性を認識する機会となった。参加企業の大半がBCPについて把握しており、セミナーを通じてその取り組みに前向きな姿勢を示した。受講者の満足度は高く、具体的な事例に関するさらなる情報提供を希望する声が寄せられた。</p>										
(1) 単独事業										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
○	創業セミナー	25	26.5	106.0%	100%	創業者・創業予定者数	3	8	266.7%	5
(2) 広域事業（幹事事業のみ）										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
○	BCP策定支援事業	28	7.5	26.8%	100%	BCPの策定件数	20件	7件	35.0%	3

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調書の記載と合わせてください。

令和6年度（2024年度）小規模事業経営支援事業					地域活性化事業実績報告書				
高石商工会議所									
事業名		創業セミナー							
想定する実施期間		平成23 年度～		年度まで ※複数年度段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること					
事業の概要	事業の目的 （現状や課題をどのような状態にしたいか）	産業構造の転換、競争力強化を図るためには、経済活動の新陳代謝が不可欠となっている。当商工会議所は、産業競争力強化法に基づく「創業支援等事業計画」認定を平成27年に受けている高石市の認定連携創業支援事業者として、市並びに地域金融機関と連携を図りながら創業支援に取り組んでいる。ワンストップ相談窓口を開設するとともに、創業を目指す方や創業間もない方を対象として、創業者に必要な心構えや事業経営の基本を学ぶセミナーを開催する。創業者に対しては、地域支援機関と連携してフォローアップし、以後の経営指導を継続し、起業家の育成を推進する。広域連携での実施とすることで、総合的な地域の活性化に繋がる。							
	支援する対象 （業種・事業所数等）	高石市や近隣の市や町に在住する創業予定者、副業起業予定者、創業して5年未満の者等							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	1. 創業プレセミナー＜人材交流型＞ 日 時：令和6年9月13日（金）18:30～20:50 場 所：高石商工会議所3階大会議室 受講者：11名（9社） 内 容：創業希望者、創業後5年未満の方、創業に関心のある方、漠然と創業を考えている方を対象に、創業マインドを醸成するセミナーと交流会を開催した。 「夢への第一歩!!創業プレセミナー」 （講師：大阪府よろず支援拠点のコーディネーター）							
		2. 創業セミナー＜人材育成型＞ 日 時：令和6年（時間：10:00～12:00） 1回目：11月2日（土）創業アイデア・想いを形にする事業のはじめ方 2回目：11月9日（土）創業時に必要なお金の知識・ビジネスプランの作成、金融機関の創業支援 3回目：11月16日（土）創業の手続き、人材採用と社会保険 4回目：11月30日（土）創業時のマーケティング戦略 内 容：これから創業しようとする方や創業まもない方が創業の心構えや準備のポイントを習得できるよう、テーマに沿ってセミナーを開催した。（講師：大阪府よろず支援拠点のコーディネーター、金融機関担当者） 場 所：高石商工会議所3階会議室・大会議室 受講者：16名							
		＜事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載＞							
		①府施策連携	府施策連携（商19番）大阪府経営支援課へ実施日時や内容等を適宜連絡報告し、セミナー内で大阪府施策を案内した。						
		②広域連携							
③市町村連携	高石市広報誌やウェブサイトへの掲載、庁舎内でのチラシ配架の協力を得て周知活動を実施した。また、高石市の創業支援事業計画に基づき、連携機関である地域金融機関の協力を得て、チラシ配架やセミナー登壇を通じて支援を促進した。								
④相談相乗	支援中の事業者等に当セミナーの受講を勧奨した。セミナー受講者からの希望があれば個別支援を実施している。								
事業全体の実績／目標	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	25.0	総支援企業数(実績)	26.5	支援実績率	106.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度 （支援企業をどう変化させることができたか）	「創業するにはまず何をすればよいのか」「経営素人の自分に理解できるのか」という受講者がほとんどであったが、セミナーを通じて基礎的な情報や手順を学ぶことができたとの回答が多く見られた。当セミナーを受講する前に感じた不安や疑問について、93%の方が解消したと回答した。セミナーの効果を最大化するため、受講者には「振り返りノート」に学びや気づき、役立った点、疑問点などを毎回記録してもらい、内容を整理・理解し、具体的な行動につなげる仕組みを取り入れた。創業に必要な知識や情報を習得することで、起業の動機を再確認し、収支計画やアクションプランの記入を通じて、創業までの準備やスケジュール感、自身の強みを明確化するのに役立った。また、創業したいがまだ漠然としている方にとって、ともに創業を目指す仲間存在を心強く感じ、創業意欲を高める機会となった。代表指標の企業数は当年度に創業した受講者8社（9名）であった。							
		代表指標	創業者・創業予定者数						
		数値目標	3		実績数値	8		目標達成度	266.7%

達成度	成果の代表事例	高石市内の物件での独立店舗開業を目指す支援として、創業に必要な知識の提供や実務手続きを行い、創業計画書の添削を通じて売上計画と資金計画を策定した。また、競合店との差別化、ターゲットの設定、販売戦略の具体化についてアドバイスを実施。資金計画を見直し、融資の申請を支援した。記帳支援では、仕訳や経理処理を指導し、決算準備表を活用した確定申告書作成を支援。開業後は地域に根付く活動として、イベントの開催に積極的に取り組んでいる。							
	その他目標値の実績	目標値 (計画)		目標値 (実績)		目標達成度			
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	創業準備中の方から既に創業した方まで、多様な受講者の相談に応じており、今後も創業前後の受講者への支援を積極的に行う。創業への関心を広げ、第一歩を踏み出すきっかけを提供するため、次年度も「創業プレセミナー」を開催し、「創業セミナー」への受講へと繋げる。また、「創業セミナー」では、参加者が創業計画や目標を共有する場を設け、互いに刺激を与え合いながらアイデアを発展させる機会を提供する。さらに、個別相談を通じて、具体的な課題の解決や、実現可能な計画の策定を支援する。							

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	10.0	支援企業数(実績)	10.5	支援実績率	105.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	創業に関して全く知識がない状態だったが、交流を通じて次に考えるべきことが少しずつ明確になった。							
		指標	創業意識が向上した割合						
		数値目標	70%		実績数値	100%		目標達成度	142.9%
	その他目標値の実績	目標値 (計画)		目標値 (実績)		目標達成度			
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	15.0	支援企業数(実績)	16.0	支援実績率	106.7%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	何から始めればよいのかわからず不安を感じていたが、セミナーを通じて基礎的な情報や手順を学ぶことができた。							
		指標	創業者・創業予定者数						
		数値目標	3		実績数値	8		目標達成度	266.7%
	その他目標値の実績	目標値 (計画)		目標値 (実績)		目標達成度			

令和6年度（2024年度）小規模事業経営支援事業					地域活性化事業実績報告書				
高石商工会議所									
事業名		BCP策定支援事業							
想定する実施期間		平成23 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 （現状や課題をどのような状態にしたいか）	地震や風水害に加えて令和元年度より始まった新型コロナウイルス感染症の世界的流行、医療機関等へのサイバー攻撃など、様々な脅威の顕在化によって、企業経営上の危機管理能力の強化が望まれている。しかしながら大阪府内においてBCPを策定している企業の割合は依然として低く、当所管内においてもBCPの必要性を感じていない事業所は多い。自然災害のみならず様々な脅威への備えの必要性や令和7年に予定されている大阪・関西万博開催による影響への対応、事業継続力強化計画の認定制度導入など、BCP策定の機運は高まっており、BCPの普及啓発を目指す。							
	支援する対象 （業種・事業所数等）	全ての業種を対象に、BCPが未策定の事業者							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	【BCPセミナー】 日 時：令和6年12月12日（木）13：00～16：00 企業数：7社8名（その他行政1名参加） 対 象：BCPが未策定の事業者 内 容：BCPの内容説明と具体的な策定の考え方、サイバーセキュリティ問題や大型イベントへの対応に関してなど、最新の情報を解説し、簡易版BCPの策定に取り組んだ。また、その後、大阪府や大阪府商工会連合会の支援制度、国のレジリエンス認証制度等を紹介し、事業継続力強化計画の内容を説明して、本格的なBCPの策定やBCMへの取組みに繋がった。							
		【事業継続力強化計画】 内 容：ハンズオン支援なし。なお、BCP策定取り組み状況のアンケート調査を実施。							
		＜事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載＞							
		①府施策連携	府施策連携（商14番）実施については、事業内容や策定事例等の情報交換を行い、相互連携を図った。セミナーで大阪府・大阪府商工会連合会の策定支援事業や施策を紹介し、参加者に活用してもらった。						
②広域連携		地域課題が近い近隣商工会議所・商工会との広域連携（3市1町）により実施し効率化を図った。							
③市町村連携	高石市発行の広報誌にセミナー開催の記事を掲載して集客を図った。								
④相談相乗	BCP・BCMに対する関心を高め、策定支援企業の相談対応、専門家への繋ぎ支援を行った。								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	28.0	総支援企業数(実績)	7.5	支援実績率	26.8%	満足率	100.0%
	目標の達成度 （支援企業をどう変化させることができたか）	セミナーの参加者の多くは現在、BCPの策定を検討中であつたが、大阪府の「超簡易版BCP」を策定することで、決定すべき具体的な事項を学ぶことができた。また、目前に控える大阪・関西万博に関連して想定される問題についての解説も行い、さまざまな脅威への備えの重要性を理解する機会となった。 （アンケート結果） BCPに関しては参加企業のほとんどが認識しており、セミナーを受けたことで取組みに前向きな姿勢を示した。受講者の満足度は非常に高く、より具体的な事例についての情報提供を求める意見も寄せられた。							
		代表指標	BCPの策定件数						
		数値目標	20件	実績数値	7件	目標達成度	35.0%		
	成果の代表事例	受講企業A社は、以前からBCP（事業継続計画）の重要性を認識していたが、具体的な策定には至っていなかった。今回のセミナーを通じて、BCPの基本的な考え方や策定手順を学び、災害やその他の脅威に対する備えを強化する必要性を再確認した。これを契機に、企業としての危機管理能力を向上させるため、本格的なBCP策定に着手したいとの報告があつた。							
	その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度			
実施結果	課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	今年度は基本的な内容のBCPに加え、目前に迫る大阪・関西万博が引き起こす問題などにも触れる内容として実施したが、計画した支援企業数には届かなかった。 参加者からの満足度は非常に高い結果となっており、南海トラフ巨大地震の被害想定の見直しが行われるなど、災害への備えの機運の高まりも活用し、参加者増につなげたい。 また、大阪府並びに大阪府商工会連合会の策定支援事業を活用しつつ、大阪府との連携を密にし、BCPの策定に向けた支援を行う。							

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	7.5	支援実績率	37.5%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	セミナー受講企業はいずれもBCP未策定であったが、超簡易版BCPの策定を行う事で検討していくべき内容について知ることができた。また、目前に迫る万博が引き起こす問題についても知ることができた。							
		指標	BCPの策定件数						
		数値目標	20	実績数値	7	目標達成度	35.0%		
	その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度			
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	8.0	支援企業数(実績)	0.0	支援実績率	0.0%	満足率	
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	事業継続力強化計画の策定については、各所共に案件がなかった。							
		指標	事業継続力強化計画の策定数						
		数値目標	8	実績数値	6	目標達成度	75.0%		
	その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度			